

心理学セミナーシリーズ

2024 / 10 / 1 (火) 16:00 ~ 17:00

33 号館 3F 第 1 会議室 + オンライン開催 (zoom)

アートを鑑賞する心と脳の働き



川畑 秀明

慶應義塾大学

文学部 心理学専攻

教授

人はなぜアートを創り鑑賞し、なぜどのように美を感じるのでしょうか。古くはフェヒナーによって実験美学が誕生して 150 年、心理学では実験をもとにアートや美の問題を人の心働きとして明らかにしてきました。どのような対象に好意を抱き、心地よさや美しさを感じるのか、その条件に対する理解は随分と進んできました。また、この 25 年にわたり進展した神経美学は、脳の働きとしてアートや美を理解することに努めてきました。しかし、実験的環境下で様々な知見が蓄積されてきた一方で、日常や美術館などの具体的な文脈で、人がどのようにアートを感じ、鑑賞するかについてはほとんど明らかにされていません。また近年、アートが人々の生活にどのように役立つのかについての関心や期待も高まってきました。本公演では、日常文脈に立ってアートを捉え直し、人々がどのようにアートを鑑賞するのか、それがどのような効果をもたらすのかについてお話しします。

▼参加登録▼

終了後には懇親会も予定していますので、お気軽にご参加ください。

zoom 聴講を希望される方は、事前に右の QR コードから参加登録をお願いします。

後日、参加用リンクをお送りします。

問い合わせ先：田中 雅史

masashitanaka@waseda.jp

